

～3円の下げとなった。

3月は横ばいとなったものの、4月に入り、荷動きはメーカー等の発注が鈍いことから足踏み状態が続くような気配で、メーカーの在庫があまりぎみなことからスクラップの引き合い自体も少なくなっている。

一時、3月後半の価格を踏襲する気配も見られたが、LMEアルミ相場や国内の新塊価格の下落から、4月前半では上物・スソ物ともに下げとなった。

また市中では、LMEアルミ相場の不透明感などから、売り手・買い手ともに慎重な見方が多く、特に在庫に対しては価格下落に

よる損失を避けたい向きも多く、それが引き合いの弱さへと繋がっている側面もある。

## 鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造

砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地 314

電話 0774 - 43 - 6700 代表

## 3月のアルミスクラップレポートおよび4月の見通し

橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

3月～5月の自動車生産計画は

前年比209%増に

予測レンジはLMEの現物後場買いで

2100～2400ドル

概況：前半は米FRBバーナンキ議長が追加的金融緩和について積極的な発言、それをうけてニューヨークダウが約3年9カ月ぶりに13000ドルを突破するなどプラス材料もあったが2月の中国貿易収支が過去10年で最大の315億ドルの貿易赤字だったこと。中国全人代で温家宝首相が不動産価格抑制に向けて積極的なコメント発したことを嫌気し下落。2239ドルと83ドル下落での前半締めとなった。

後半は欧州基金の補充枠の拡大など好材料もあったものの、米格付け会社フィッチに

よる英ソブリンの見通しの格下げや資源大手BHPビリトンが中国鉄鉱石需要の伸び悩みを予測したことさらに経済協力開発機構(OECD)欧州経済の基盤がまだ脆弱であるとのコメントを嫌気し下落。3月31日現在LME(現物後場)2130ドルの100ドル強下落のスタートとなった。

前月の経済指標：日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比+13.7%の95万2268台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比+49.4%の49万7959台(前年比+178.2%)。3カ月間の自動車生産計画は昨年対比+208.6% 247万3千台となった。国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+11.6%(昨年比+7.5%)の6万6928戸であった。

住友電工人事異動(4月16日付)▽材料技術研究開発本部▽半導体技術研究所主幹(パワーデバイス開発部技術開発部長)並川靖生▽情報通信・システム事業本部▽システム事業部安全・品質保証部長部長兼新製品企画部主幹(システム事業部品質保証部長兼新製品企画部主幹)山口正義▽システム事業部グローバルITS推進部長主幹兼新製品企画部主幹(システム事業部新規事業開発室主幹兼新製品企画部主幹)棚田昌一▽パワーデバイス開発部技術開発部長兼パワーデバイス開発部技術設計部長(パワーデバイス開発部

技術設計部長)▽エレクトロニクス事業本部▽住友電工電子製品(深圳)有限公司総経理(住友電工プリントサーキット株式会社)

組織改正(4月16日付)▽情報通信・システム事業本部▽システム事業部の品質保証部を「安全・品質保証部」に改称する。▽システム事業部に「グローバルITS推進部」を新設する。▽システム事業部の新規事業開発室・エンジニアリング部、プロジェクト推進部、機器開発部、システム開発部を廃止する。



貿易指標:財務省貿易統計によれば輸出はアルミ新地金が前月比+210.4%の149t、2次合金が+20.6%の878t、スクラップが+63.8%の9362t。輸入は新地金が前月比-14.5%の12万4015t、2次合金が-17.6%の8万9575t、スクラップが+47.8%の912t、合金スクラップは-47.1%の3084tとなった。

前月の国内指標:日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前月比+9.4%の16万5644t(昨年対比-0.3%)。日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績は前月比+3.5%の6万6143t(昨年対比-3%)であった。

見通し:自動車関連は堅調、さらに住宅が底入れするものの、それ以外は下振れの月となった。自動車生産は前年比+19.7%の95万2268台と7カ月連続上昇。新年度入りで堅調に推移。また国内自動車販売台数も49万7959台と前年比+178.2%と急上昇。3-5月の自動車生産計画が+208.6%と自動車関連は絶好調。ただ自動車関連のアルミ2次合金生産は、前月比+3.5%の6万6143t。昨年対比-3%と5カ月連続調整中、新年度に早くも原料不足の声が聞かれる。

その他、住宅・家電需要が見込める圧延・押出生産数は前月比+9.4%の16万5644t。

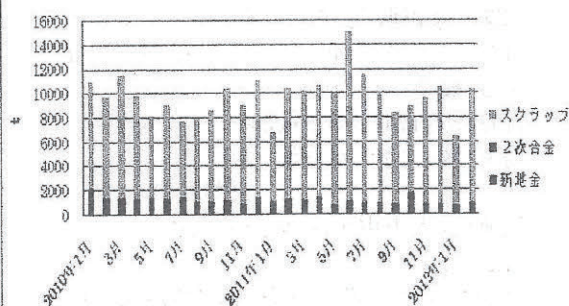
昨年対比-0.3%と住宅着工の回復をうけ底入れの様相。その新設住宅着工数は季節調整前月比+11.6%の6万6928戸。前年比は+7.5%とようやく回復の兆し4月以降の復興需要に期待したい。

輸入塊は上海シグマが3月末 現在で2400ドル(+100)、ロシア塊は2180ドル(-50)とそれぞれだが港値にすれば 209円190円と190円前後の国内ものに比べて割高。輸入は新地金が前月比-14.5%の12万4015t、自動車関連の2次合金は-17.6%の8万9575t 合金スクラップは-47.1%の3084t、スクラップは+47.8%の912t。輸出は新地金が前月比+210.4%の149t。2次合金が+20.6%の878t スクラップが+63.8%

|          | 12月       | 1月        | 2月        |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 生産台数     | 84万 8208台 | 83万 7197台 | 95万 2268台 |
| 前月比      | +12%      | -1.3%     | +13.7%    |
| 昨年対比     | +13.4%    | +18.6%    | +19.7%    |
|          | 1月        | 2月        | 3月        |
| 販売台数     | 26万 3267台 | 33万 3213台 | 49万 7959台 |
| 前月比      | +18.6%    | +26.6%    | +49.4%    |
| 昨年対比     | +40.7%    | +31.9%    | +178.2%   |
|          | 3月        | 4月        | 5月        |
| 生産計画台数   | 96万 3千台   | 77万 6500台 | 73万 3500台 |
| 前月比      | +1.2%     | -19.4%    | -5.5%     |
|          | 12月       | 1月        | 2月        |
| 新設住宅着工数  | 6万 9069戸  | 6万 5984戸  | 6万 6928戸  |
| 季節調整 前月比 | -8%       | +5%       | +11.6%    |
| 昨年対比     | -7.3%     | -1.1%     | +7.5%     |
|          | 12月       | 1月        | 12月       |
| 新地金      | 14万 6481t | 14万 5073t | 12万 4015t |
| 前月比      | -21.6%    | -1%       | -14.5%    |
| 2次合金     | 10万 1202t | 10万 8645t | 8万 9575t  |
| 前月比      | -13.3%    | +7.4%     | -17.6%    |
| スクラップ    | 767t      | 617t      | 912t      |
| 前月比      | +37.5%    | -19.6%    | +47.8%    |
| 合金スクラップ  | 4843t     | 5821t     | 3084t     |
| 前月比      | -15.2%    | +20.3%    | -47.1%    |

| 輸出    | 12月    | 1月     | 2月      |
|-------|--------|--------|---------|
| 新地金   | 126 t  | 48 t   | 149 t   |
| 前月比   | -24.6% | -61.9% | +210.4% |
| 2次合金  | 737 t  | 728 t  | 878 t   |
| 前月比   | +2.9%  | -1.2%  | +20.6%  |
| スクラップ | 9683 t | 5716 t | 9362 t  |
| 前月比   | +10.3% | -41%   | +63.8%  |

アルミ輸出推移



09.10年アルミ輸入推移

